

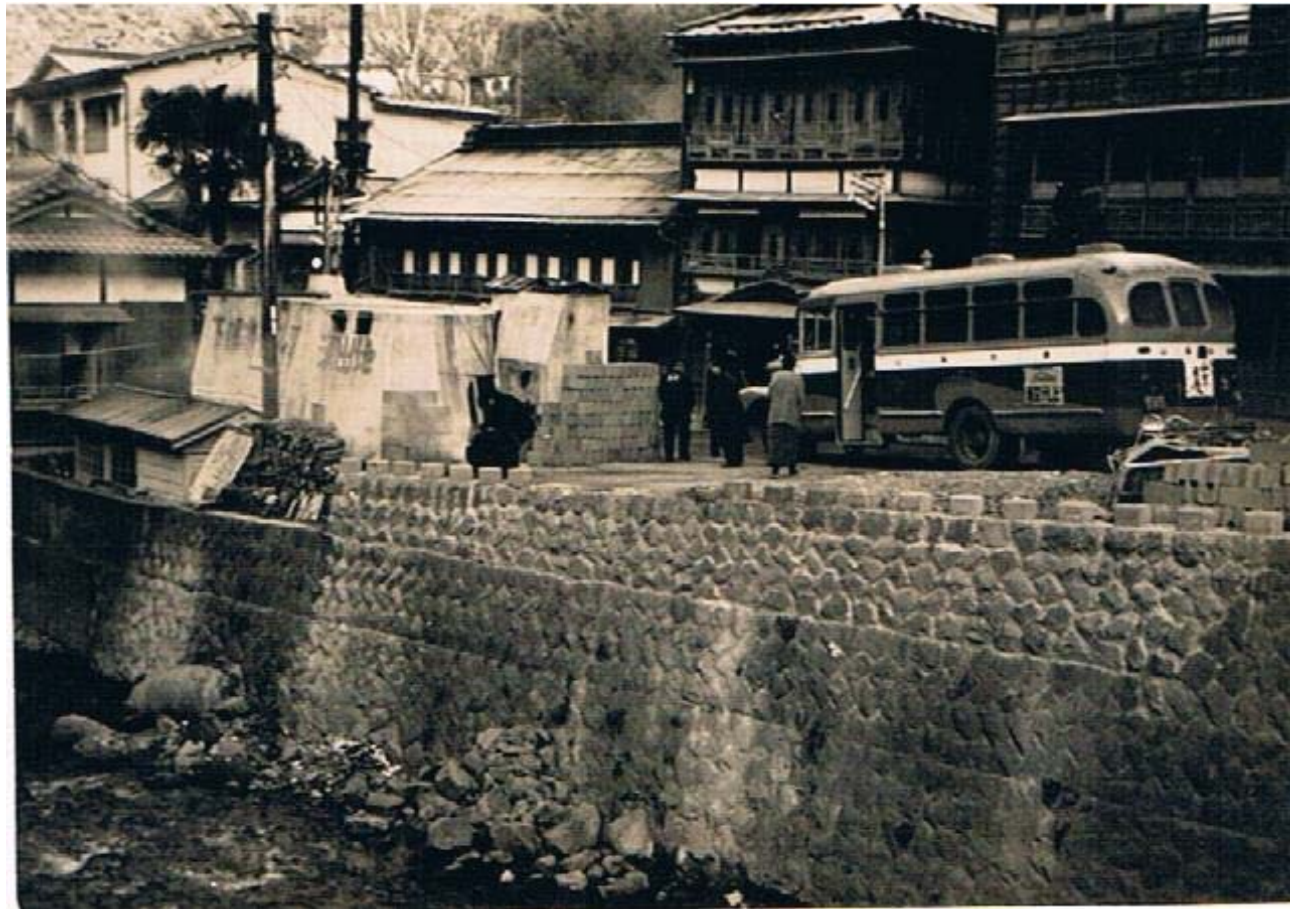
私の鉄道・バスの愉しみ方 ～交通は文化～

交通ジャーナリスト
鈴木文彦

2018/1/31

私の原点～それは山梨県のバスと鉄道

1950年代後半の山梨交通バス



2018/1/31

ボンネットバスや車掌が乗務するバスが活躍した1950～60年代をバスとともに過ごす
<右=富士急行/左=山梨交通/ともに1968～70年の私自身の撮影>



2018/1/31

この電車との出会いが私の行く末を決 定づけた

〈当時甲府で唯一色彩感のあるこの「山スカ」と呼ばれる電車に魅せられた〉



2018/1/31

当時の甲府を走ったSLや旧型電車

<左＝甲府駅構内入換のC12形SL／荒川橋梁を渡る戦前型の
身延線用電車 いずれも1969年>



中学～高校とその時々 of 鉄道やバスを記録し始める

<普通にSLが走っていた時代（1972年宮崎県・吉都線）>



2018/1/31

そしてこの時期に山口県にも進出

<左＝山陽本線を走るD51貨物／右＝最終期の小野田駅構内のSL いずれも1973年>





1970年代の鉄道

- まだ自家用車が行き渡っていない時代、鉄道は旅客輸送の主体だった
- 貨物輸送も主役は鉄道～山口県内は産業鉄道の様相が濃かった
- 動力近代化（蒸気→電化・ディーゼル化）が進んだ時期
- 一方、国鉄は労使関係の悪化により凋落傾向
- 地方私鉄はモータリゼーションや災害に負けて廃止の道へ

↷戦前型国電の走る1970年代の宇部線

石灰石輸送で発達した美祢線

<左＝旅客より石灰石の方が主体だった1970年代の美祢線
（湯ノ峠～厚保間）／右＝支線の南大嶺～大嶺間も混合列車
をD51が牽いた（南大嶺）>



新幹線開業前の山陽本線

<左＝瀬戸内海に沿って走る普通列車／多数の九州方面への特急・急行が活躍　いずれも由宇～神代間>



2018/1/31

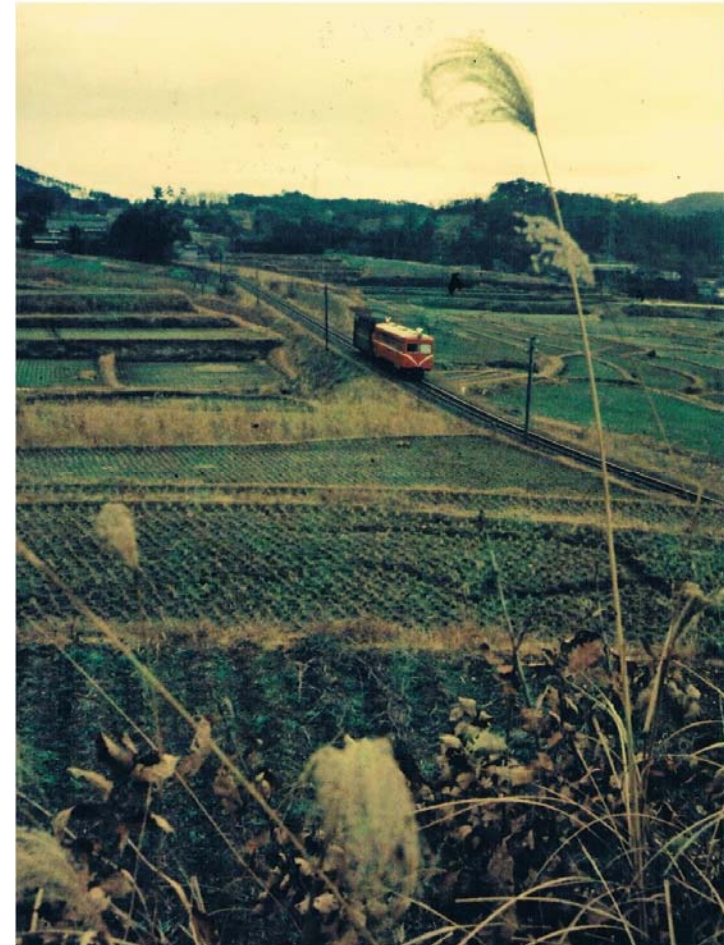
沿線の風景がお気に入りだった島根県 ～山口県の山陰本線

<左＝漁村に行く普通列車（鎌手）／右＝風光明媚な海岸線
線に行く急行「さんべ」（五十猛）>



良き時代だった1970年代前半の軽便鉄道

<左＝石川県の尾小屋鉄道（1977年廃止）／右＝岡山県の井笠鉄道（1971年廃止）>



そして大学時代～東北の地方バスとの出会いが今の仕事へ

<未舗装路をたどって山間へ分け入る宮城交通のバス>



2018/1/31

たくさんの課題を抱えていた東北の地方バス
<左=1976年の合併の名残が色濃かった岩手県交通～この4台みんな同じ会社／右=豪雪地の山間集落をたどる山形交通>



2018/1/31

この時代に山口県内のバスを記録

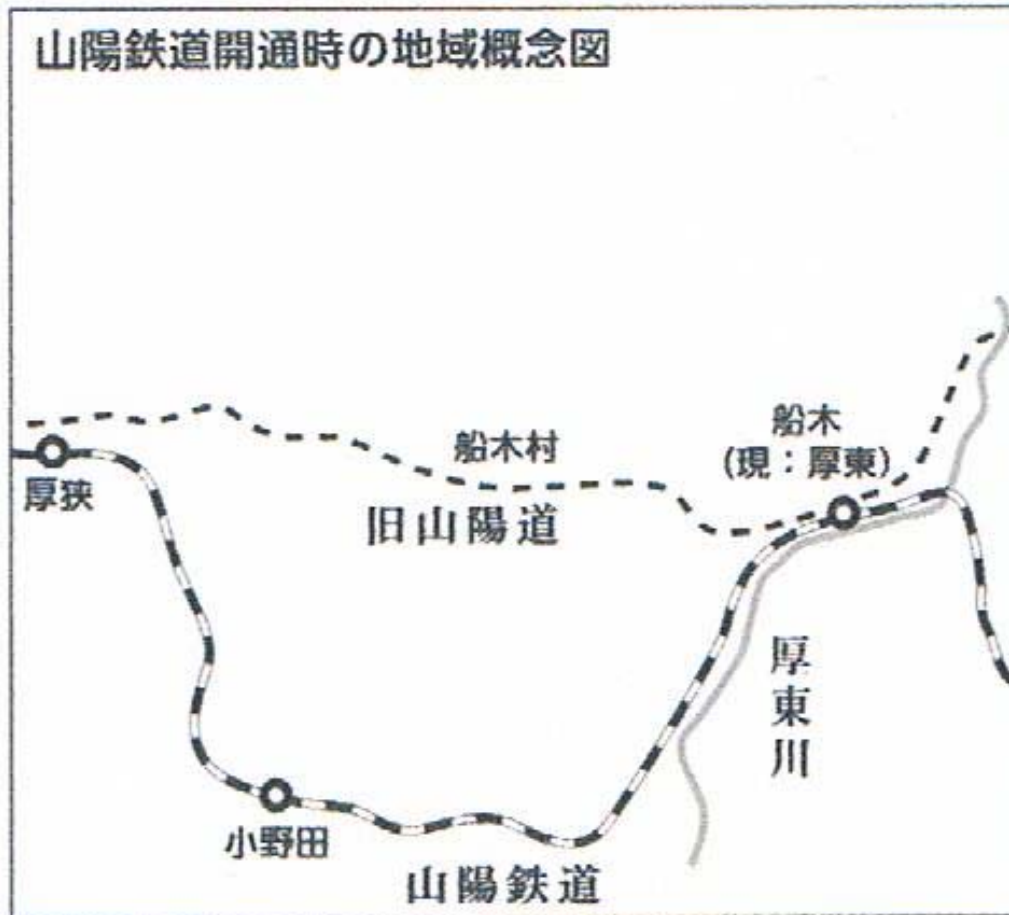
<宇部市交通局／サンデン交通／山口市交通局／山陽急行バス いずれも1978年>



経験から導き出した鉄道・バスの愉しみ方
<その1>交通の歴史や文化に思いを馳せる
<かつて廃線となった船木鉄道の遺跡をバックに走る船鉄バス>



2018/1/31



一例＝鉄道史の検証／
どうやって鉄道ルート
が決まったか

鉄道忌避伝説は本当か？

- ・ 煙で農産物が枯れる
- ・ 火の粉が飛んで火事になる
- ・ 音に驚いて鶏が卵を産まなくなる

etc

実際には技術的な理由が大半

- ・ より勾配が緩く
- ・ 橋梁やトンネルを少なく
- ・ 工期が短縮できる
- ・ +近代産業発達に貢献

2018/1/31



船木軽便鉄道～船木鉄道の開業

そんな中で船木鉄道が開通

- ・沿線地域を山陽本線につなぐ目的
- ・沿線に石炭産業が発達～主力の貨物輸送に
- ・改軌＋延長
- ・陰陽連絡めざすも資金難で挫折

各地にも同様の地方鉄道発達

- ・山口県内にも宇部軽便鉄道（宇部鉄道）／小野田鉄道／長門鉄道／防石鉄道

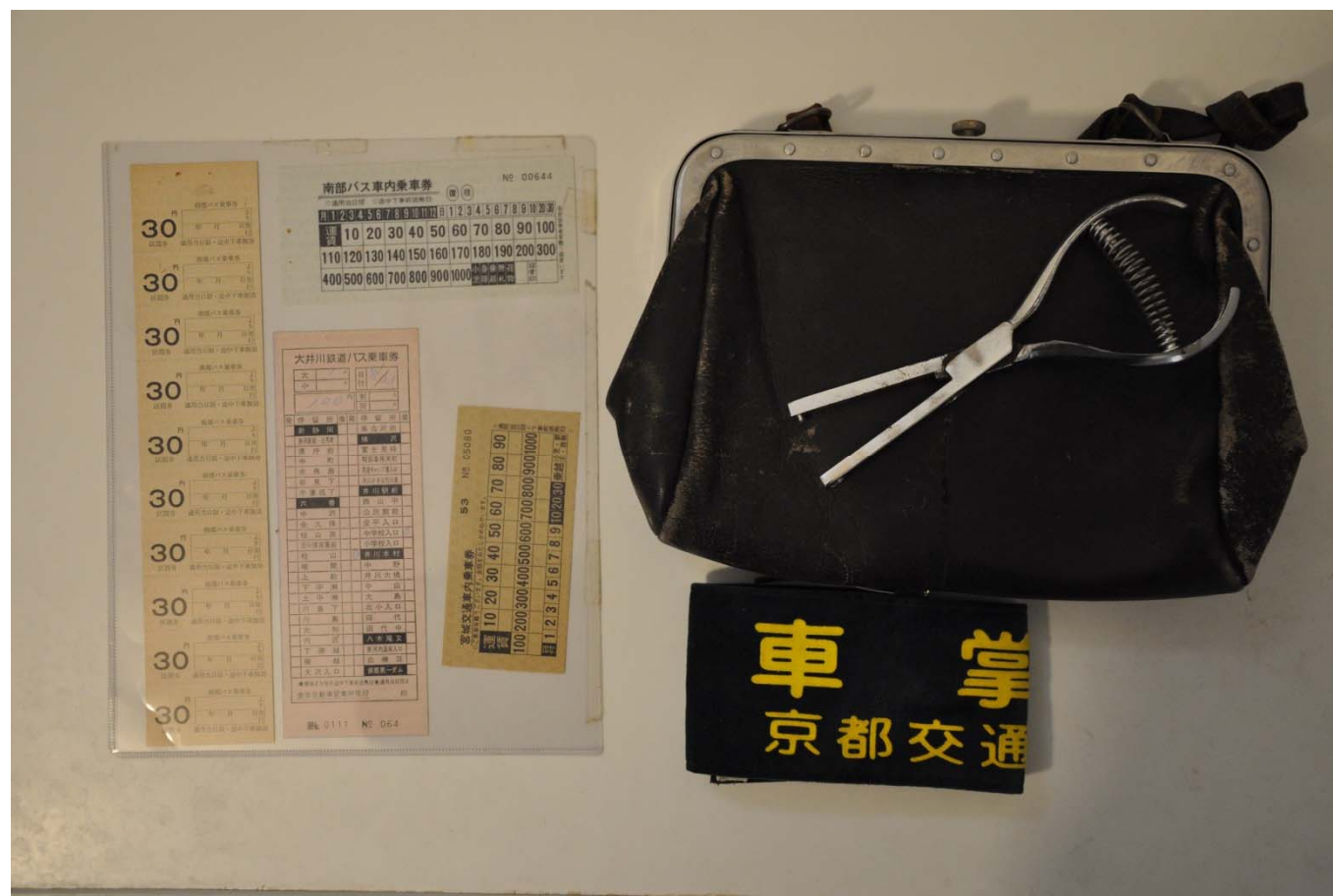
経験から導き出した鉄道・バスの愉しみ方 <その2>交通の文化的価値を高める～記録に残す



2018/1/31

ひとつの時代を表す遺産を保存

<一例／バスに車掌が乗っていた時代のグッズ>



2018/1/31

過去の交通文化を記録

<一例／全国の主要駅に駅弁があった時代>



2018/1/31

写真は対象の鉄道やバスだけでなくその時代を記録する

<左＝乗客や通行人の服装などにも時代が（1968年立川バス）／右＝昭和時代の山あいの町並（1973年山梨交通）>



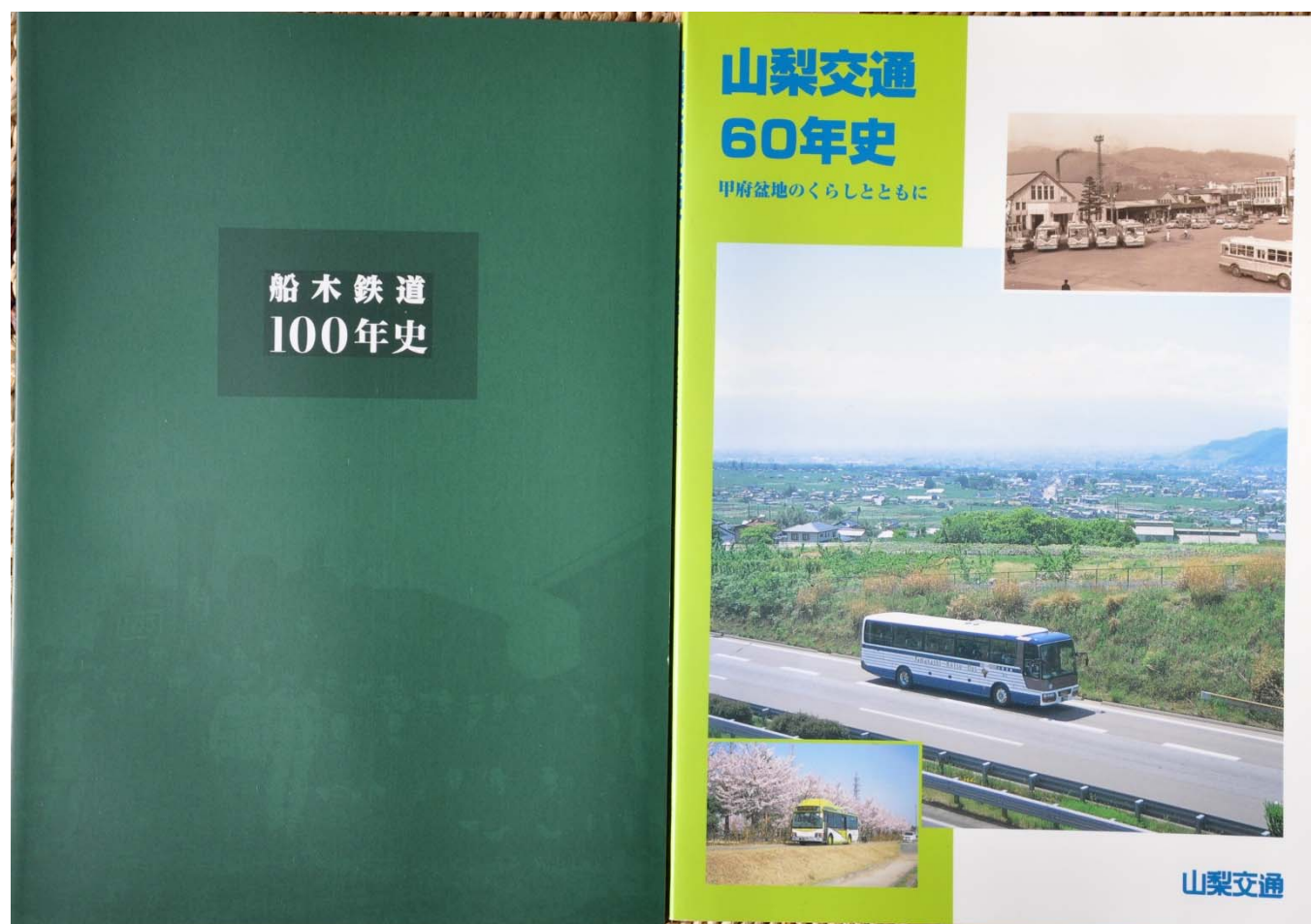
2018/1/31

歴史の証人となる写真などの保存と分析

<船木鉄道に残る1940～60年代のバスの写真>



社史編纂にも協力させていただいた



産業文化財としてのバス車両をNPOを立ち上げて
保存（右端は2017年NHK「ひよっこ」に協力）



経験から導き出した鉄道・バスの愉しみ方
<その3>交通を便利に上手に利用する
<全国の都市間をネットする高速バス～神戸淡路鳴門ルート>



2018/1/31

高速バスを上手に活用する

高速道路の延長により都市間高速バスは全国的に
発達、廉価で快適な移動が可能に



2018/1/31

鉄道ミステリーばりの移動も



- 夜まで山口市で地域に入って住民とやり取り、翌日は午前10時から東京都八王子市で会議～さて、どうする？
- そこで考えたのが鉄道をアリバイづくりに利用したミステリー小説のような乗り継ぎ
- 新山口を21時過ぎに新幹線「こだま」で出て広島へ～広島で先に新山口を出ていた寝台特急「富士・はやぶさ」をつかまえる～「富士・はやぶさ」に浜松まで乗車～6時台に浜松から新幹線「こだま」で新横浜へ～横浜線に乗り換えて八王子に9時半ごろ着
- 無事に会議に間に合った～今はできなくなったこんな芸当

2018/1/31
もちろんゆっくり車窓を楽しみながらの旅
も楽しみの一つ

<北海道桧山の海岸線を行く函館バス／富士山を眺めつつ
走る山交タウンコーチ>

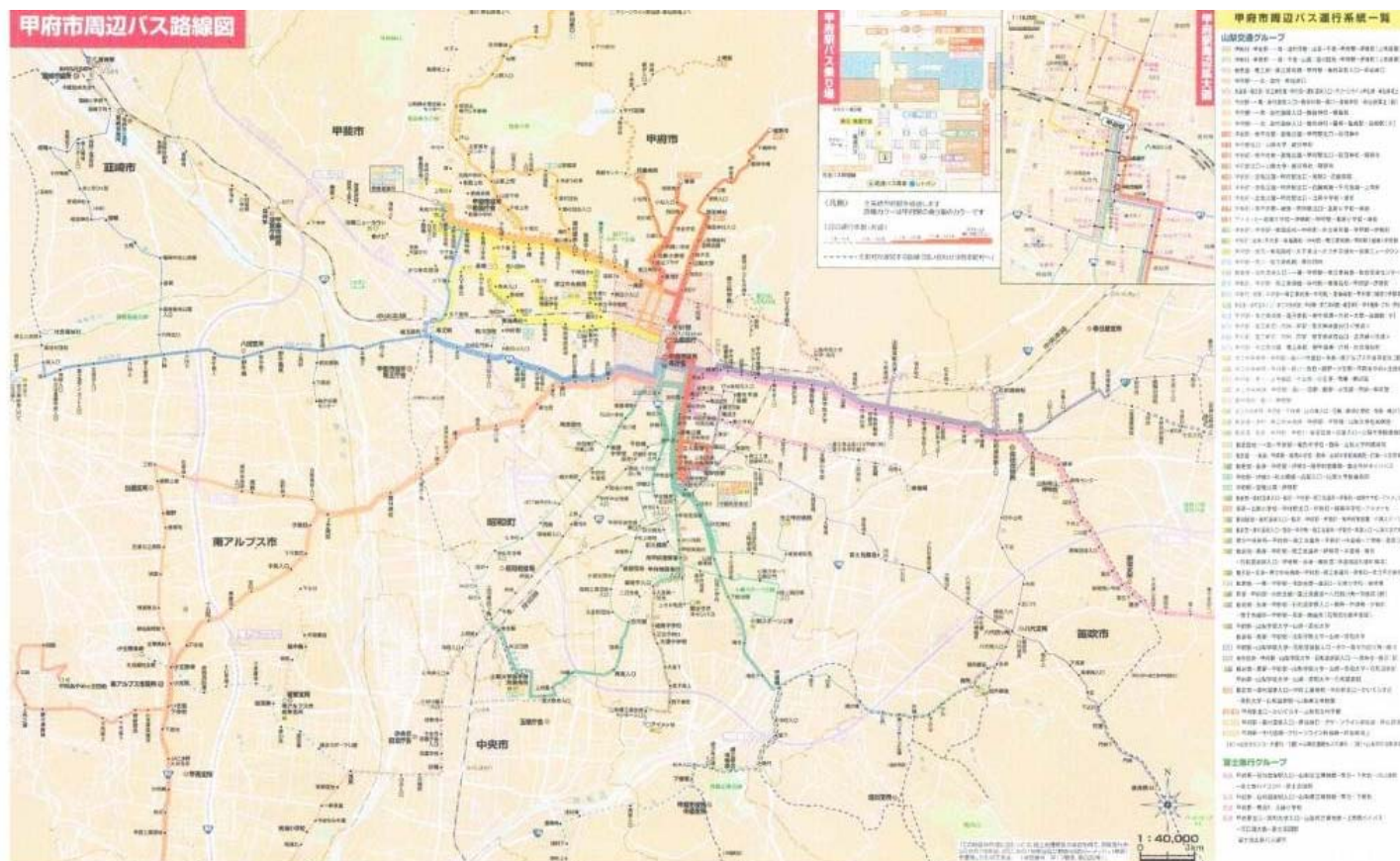


2018/1/31

経験から導き出した鉄道・バスの愉しみ方

<その4>鉄道・バスを知ってもらう

<ノウハウの蓄積が進む各地のバスマップ～山梨バスマップ>



2018/1/31

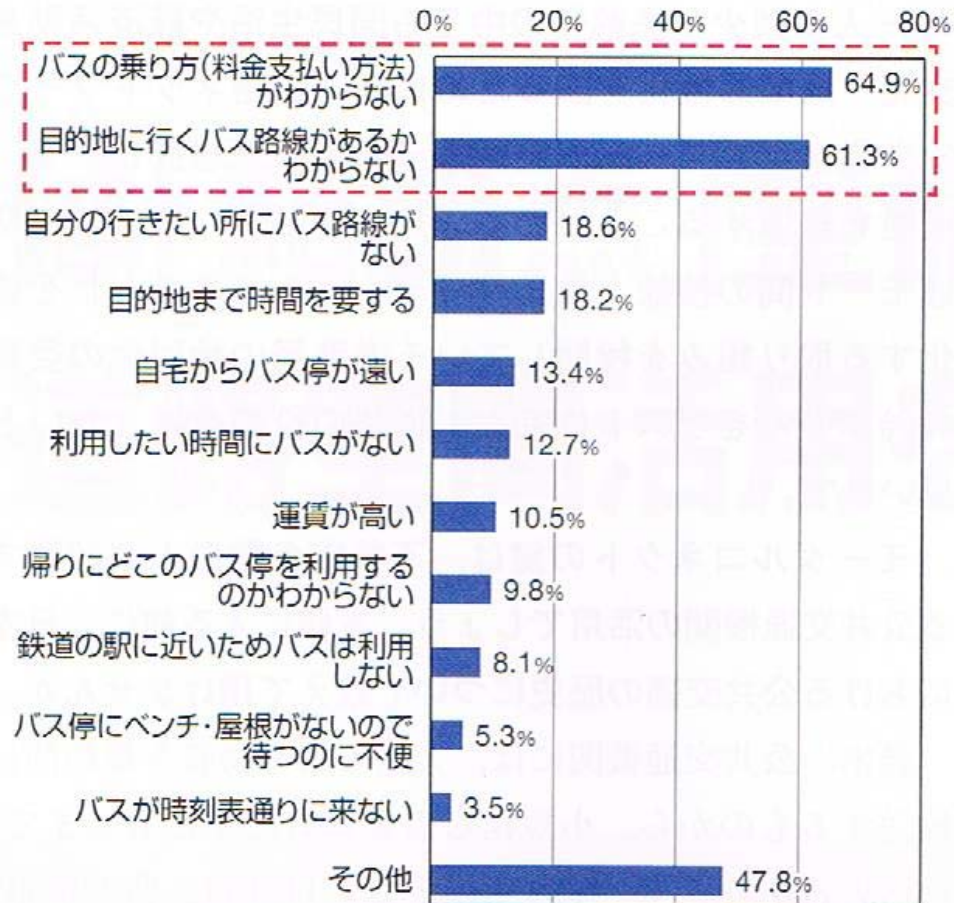


図-3 山梨県・バス利用に関するアンケートの結果
「バスを利用しない理由」(n= 3254)

(出典：山梨県交通政策会議資料〈2016.5.23公表〉)

『路線バスの旅』がほぼ流行らない根本原因

好評の「路線バスの旅」番組
～しかし路線バスの利用者は増えていない

なぜ？～その1

ローカルバスは地域のニーズ
でできている

→外来客にとって使いやすい
設定とは言えない

なぜ？～その2

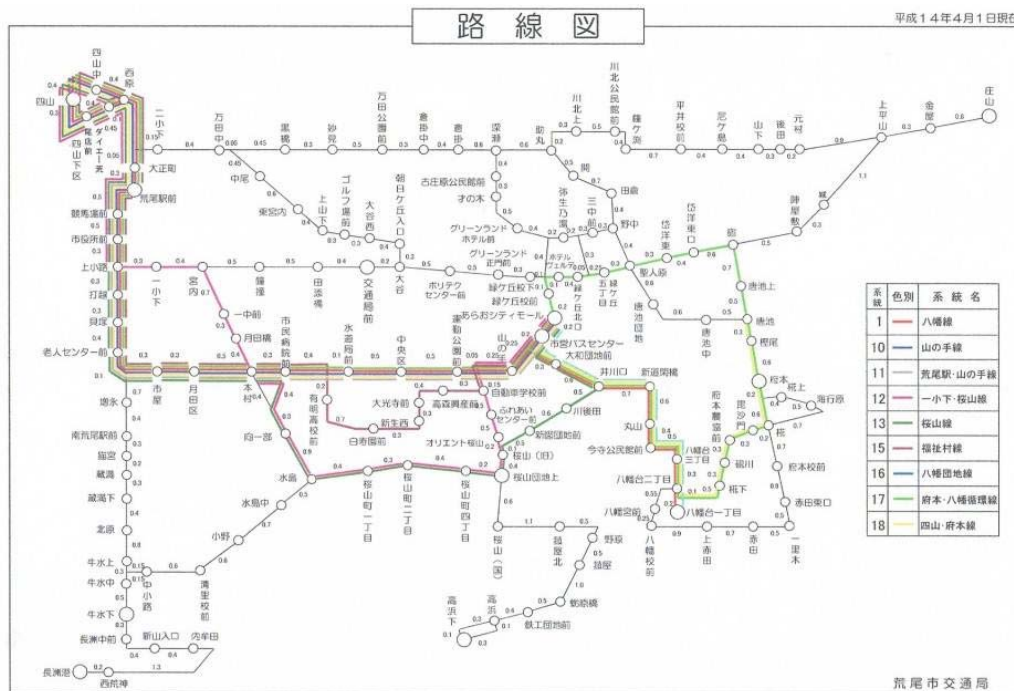
つながらない路線バス～路線
廃止による分断・末端部からの
撤退

なぜ？～その3

わからない路線バス

2018/1/31

わからないから使わない （使えない）路線バス



●熟知している者の視点でつくられる情報～初めての利用者にはまったく理解不能

●そもそも利用者に提供できるマップや時刻表が今もってほとんどない

●統一性のない情報

●WEB情報もある程度知識がないと欲しい情報に到達できない

●バス停の表示情報の不備とメンテナンスの悪さ

●事業者ごと個別にバラバラの仕様で提供される情報

●地元でしか通用しない表記や略称

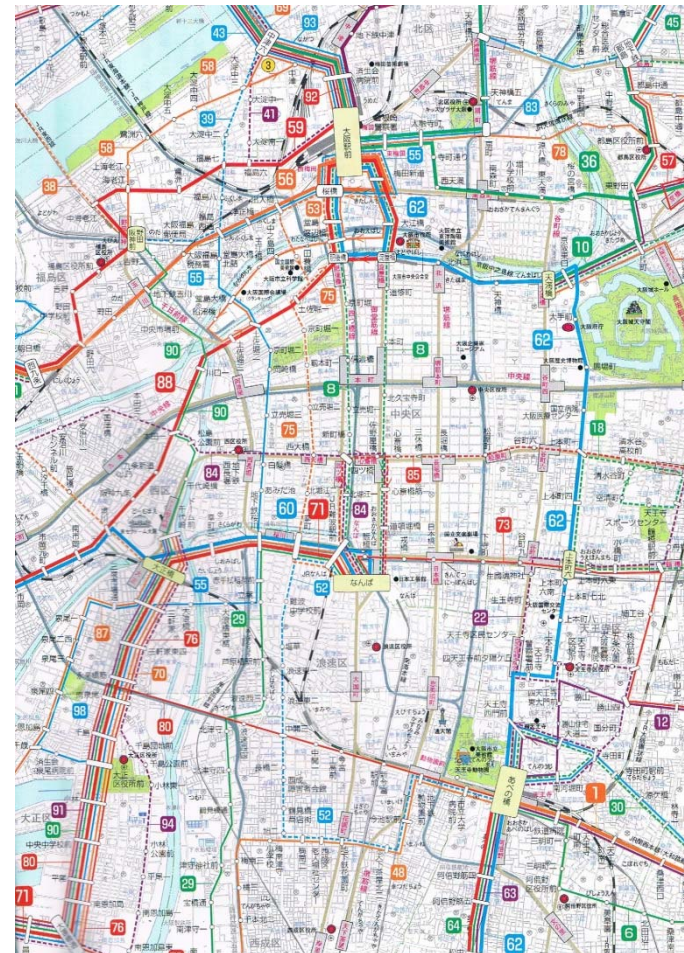
●デザイン優先の表記や色使い

⌘よそ者に理解できますか？

2018/1/31

大阪市営バスマップの改良前→後

縮尺地図に乗せ、他社鉄道接続を明確化、頻度別に系統表記を変えた



2018/1/31



まずは知ってもらおう

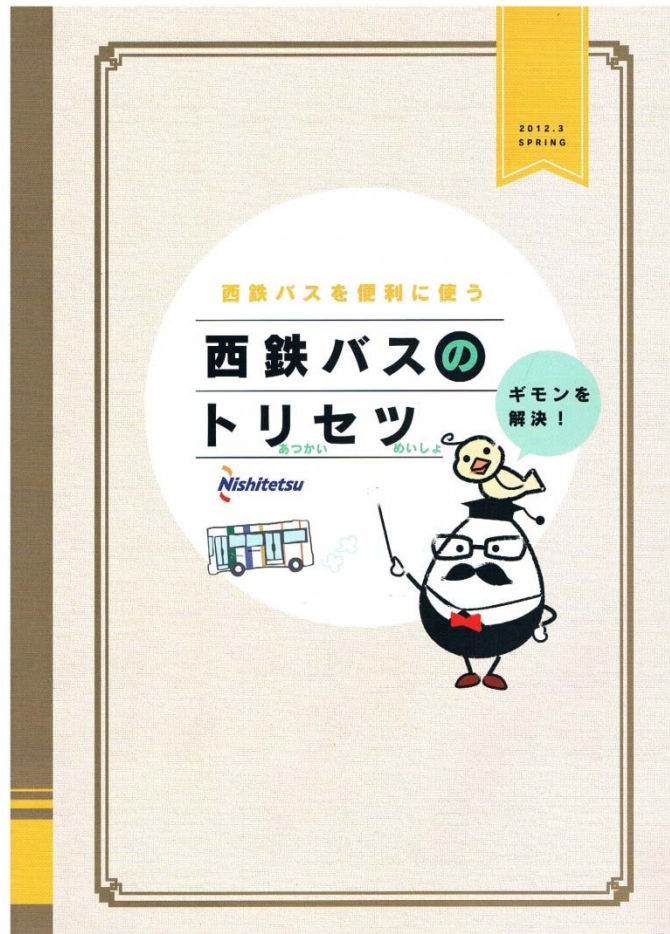
- 車しか使ったことのない人たちは公共交通が移動の選択肢にない
- だからバスの存在自体が「わからない」
- まずは子どもたちに上手な使い方をわかってもらう
- 大人も実はバスの乗り方を知らない～大人向けのインフォメーションも
- 鉄道も乗り方がわかっていないことが～ワンマン列車の乗り方を知っていますか？

≪小平市「バスとタクシーのひろば」(5月開催)では私が「バス乗り方教室」を進行

2018/1/31

バスの乗り方や基礎情報を伝える

西鉄「西鉄バスのトリセツ」／弘南バス子供向けガイド



「バスの乗り方」インフォメーションの実例～子供向けノベルティの下敷きに図解で表示（左=山梨交通）／バスマップのスペースの一部に乗り方を掲載（右=富士市）



バスのおもちゃ

バスののりかた

～後荷もバスをしようるに利用しよう～

1 バス停で、安全に気をつけてバスを待ちましょう。



2 バスが来たら、後ろ扉からバスに乗ります。



3 入口で整理券を取りましょう。
IC(あいしー)カードがあれば、機械(きかい)に近(ちか)づける。



4 降りたいバス停が来たらブザーを押して、バスが完全に止まるまで席に座って下さい。



5 運賃を確認。前(まえ)にある表示機(ひょうしき)に整理券番号(せいりばんごう)と運賃(えん)が表示(ひょうじ)されます。(10円単位)小学生以下(小)は半額(はんがく)です。



6 整理券と運賃を運賃箱(えんちんばこ)に入れて下さい。おつりはできません。両替(りょうかひ)してから入れて下さい。
IC(あいしー)カードがあれば、機械(きかい)に近(ちか)づける。



7 前の扉(かた)から降ります。



富士急静岡バス・山交タウンコーチ

路線バス情報

バスの乗り方








① 乗車するバスの行き先を確認しましょう。
前と横に行き先が表示されます。

② バスは後ろの扉から乗車します。
※前から乗車するバスもあります。

③ 入口で整理券を取りましょう。
PASMO、Suica をご利用の場合は、カードリーダーにタッチ！
山交は「バスICカード」をご利用下さい

④ バス前方にある画面に、運賃と次のバス停が表示されます。
富士急：150円＝150 / 山交：150円＝15

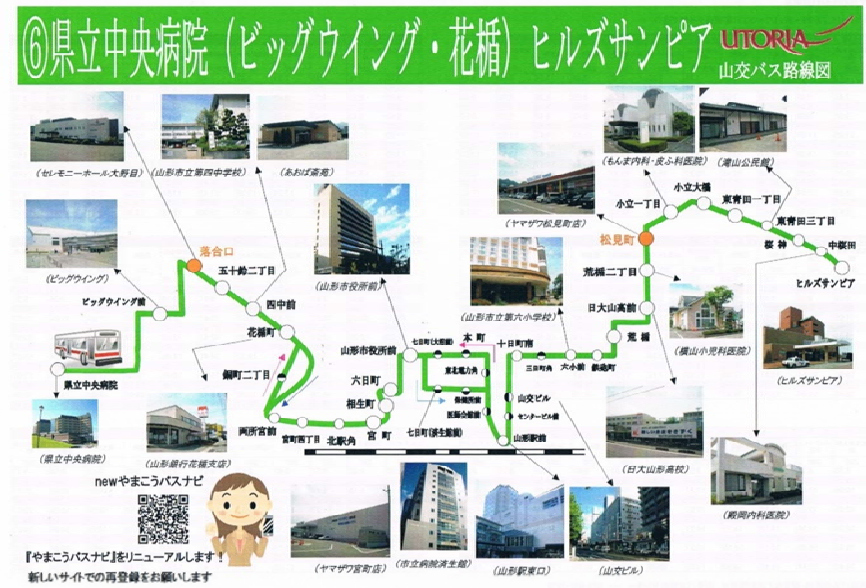
⑤ 降りたいバス停がアナウンスされたら、近くの降車ボタンを押しましょう。

⑥ バスが停止してから、運賃を支払い降車しましょう。
・整理番号の運賃を支払います。
・運賃は整理券と一緒に運賃箱へ。
・おつりは出ないので、両替してから入れて下さい。
(カードはカードリーダーにタッチ！)

	年 齢	運 賃 額
大人	12 歳以上 (中学生以上)	普通旅客運賃
小児	6 歳以上 12 歳未満 (小学生)	普通旅客運賃の半額
幼児	6 歳未満	●単独の場合は小児運賃 ●同伴の場合は、2 人は無賃 2 人を超える幼児は小児運賃

※小児運賃は、10 円未満のは数は切り上げます。

バス路線の周辺情報をビジュアルで 京成バスミニトリップ／山交バス（山形）沿線案内



2018/1/31



ハードからハートへ～ 最後は人のサービス

- どんなにWEB情報が発達してもいちばん安心できるのは人による案内
- 手づくりの案内でも暖かさが通じて好評
- 高齢化に対応して乗降や案内をアシストするアテンダントを乗せるバス・鉄道も
- 利用者と接することによって乗務員もサービス精神が芽生える
- 大切なのは笑顔と機を見た接遇

≪不案内な乗客への乗降サポートや観光案内を行うバスターミナルの案内係。利用者も安心してバスに乗れる（岐阜乗合自動車）

2018/1/31

経験から導き出した鉄道・バスの愉しみ方

<その5>鉄道・バスをみんなで楽しむ

<各地でバスや鉄道をアピールし家族で楽しんでもらうイベントを仕掛けてきた～山梨県>



2018/1/31

みんなの参加で楽しく 利用促進



- まずは公共交通に触れてもらう機会が必要～バスや鉄道のイメージアップ
- エコ通勤・地域のイベントやお祭り等とのリンク
- 事業者のみならず県や市が主体的に参画
- 現場の一体感がモチベーションを高める
- ここから生まれる相互の信頼関係

≪私のコーディネートで初めて鉄道事業者とバス事業者が共同で主催し1300人の来場者を集めた「鳥取・若桜谷のりものまつり2016」

2018/1/31

乗ってみたいくなる バスをつくる



- マイカー依存社会にあって公共交通には無関心な住民が多い
- まずはバスや鉄道に注目してもらい、意識してもらうことが必要
- そのためには多少派手なことでも～とりあえず話題になることも大切
- 乗ってみたいくなるバス・鉄道をつくる～デザイン・イメージ・話題性～子供や女性へのアピール～「かわいい」がキーワード
- 誰にでもレンズを向けてもらえれば成功

※京王電鉄バスグループが毎年12月に取り組む「クリスマスバス」 山口県内でも各社が実施

乗ってみたいくなるバス

女性に人気の高いキャラクターを企業とのタイアップによりラッピングした「リラックマバス」(立川バス)



左のバスの車内 シートもすべてキャラクターデザインで統一 わざわざ乗りに来る女性・子供の利用者が多い



2018/1/31

乗ってみたいくなる鉄道

出雲大社にちなんだキャラクターを描いたピンクのラッピングを施したご縁電車「しまねっ子号」（一畑電車）



車内もピンクで統一し床にあみだで“ご縁”を演出 吊革もハート形を混入 女性客に評判となった（一畑電車）



2018/1/31

バスって楽しいね おもしろいね



- 既成概念からの脱却～プラス発想への転換
- 他の業界なら普通の発想をもう一度考えてみよう
- いろいろな「仕掛け」をしてみよう
- やれることは何でもやる～ダメなら見直そう
- 企画・準備するスタッフも現場も楽しくできる方法を探る～やる方が楽しければ利用者や沿線にも楽しさが伝わる～現場の士気も上がる

八戸市の南部バス岬台団地線 秋には車内の虫かごでキリギリスが鳴き乗客を和ませる

思わず笑顔になるバス

観光施設と新幹線駅を直行でアクセスする路線を専用デザインのラッピングバスで運行（八戸市の南部バス）



左のバスの車内には吊革にクイズが 表裏を使い、どちら側を先に見てもクイズが成立するように工夫がなされている



沿線住民の参加とアイデアを実現

パッケージに地元を走っていた鉄道車両のデザインイメージを取り込んだお土産用のそうめん（兵庫県たつの市）



鉄道の地域性をアピールし、地域の誇りを訴える～吊革を名産のリンゴになぞらえて赤くし、葉もつける（弘南鉄道）



地域住民を巻き込んだ利用促進

市民と協働体制をつくり、さまざまな仕掛けで利用促進を図る東京都小平市のコミュニティバス「にじバス」



2013年度には沿線の幼稚園年長組から公募し、次バス停の案内放送を園児たちが1バス停ずつ行った（収録風景）



2018/1/31

路線バス利用促進

高齢者には「乗りやすいバス」

子どもたちには「乗ってみたいくなるバス」

女性にとっては「きれいで安心して使えるバス」

そしてみんなにとって「わかりやすいバス」

利用促進はどうせやるなら楽しくやりましょう

イベント向けに日本交通（鳥取）が本物の部品を使って製作したミニバスに子供たちは興奮

以上

